

ゆるぎない 成長の実現

—*Delivering Sustained
Profitable Growth*—

Furukawa **G** Plan 2020 **G**roup **G**lobal **G**rowth



2016年5月11日

代表取締役社長 柴田 光義

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

“一段上”の企業グループに進化

ゆるぎない成長の実現

Delivering Sustained Profitable Growth

Furukawa G Plan 2020
Group Global Growth

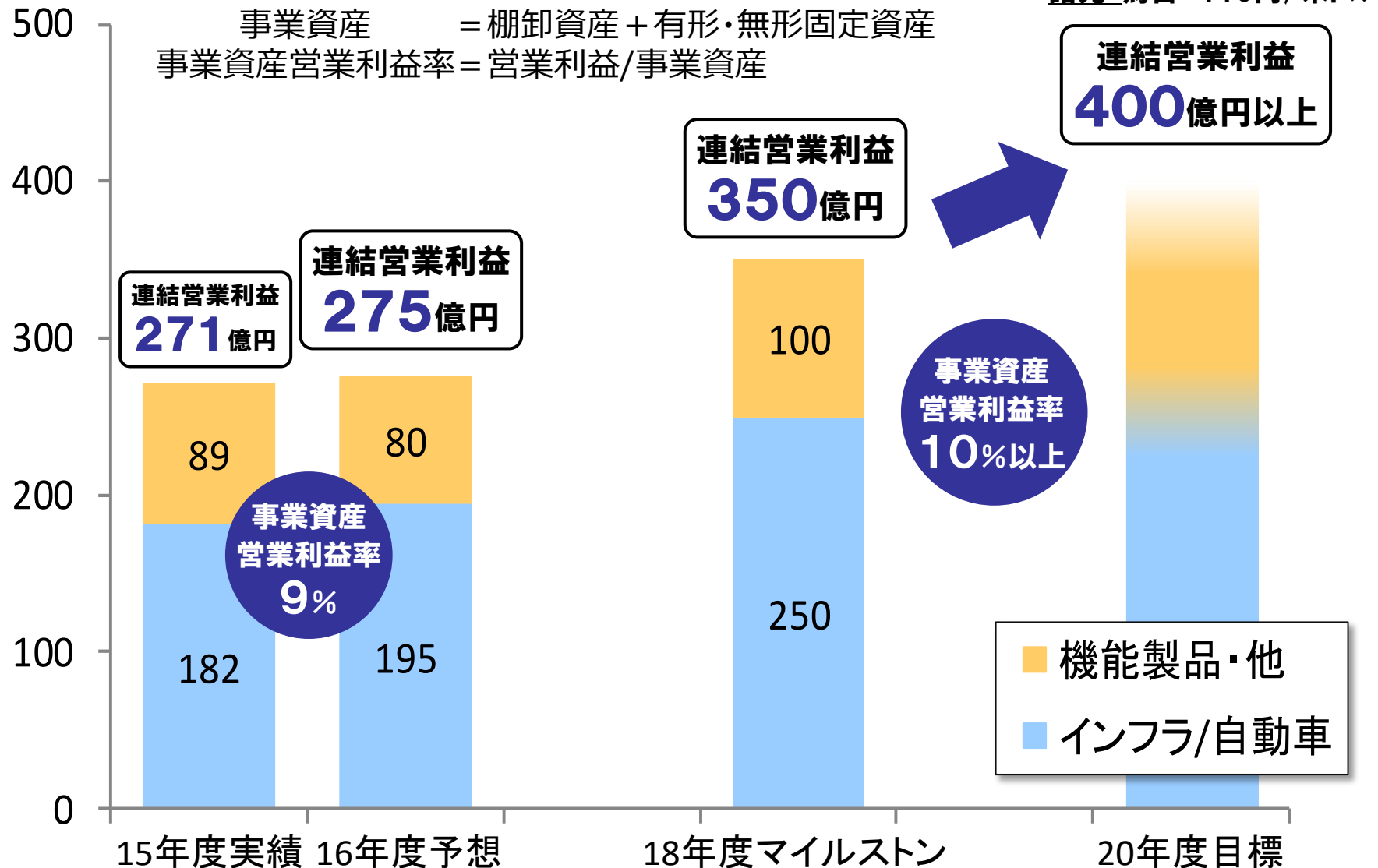


営業利益・資産効率の目標

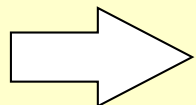
(億円)

事業資産 = 棚卸資産 + 有形・無形固定資産
 事業資産営業利益率 = 営業利益 / 事業資産

諸元: 為替 110円/米ドル



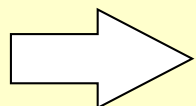
I. インフラ/自動車市場での成長戦略



- 欧米通信市場の成長取り込みを加速中
- 海外超高压電力ケーブル事業を強化
- 自動車グリーン化対応を加速

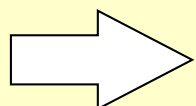
II. 持続的成長に向けた基盤の構築

①構造改革の推進 ②次世代新事業の育成 ③グループ・グローバル経営の強化



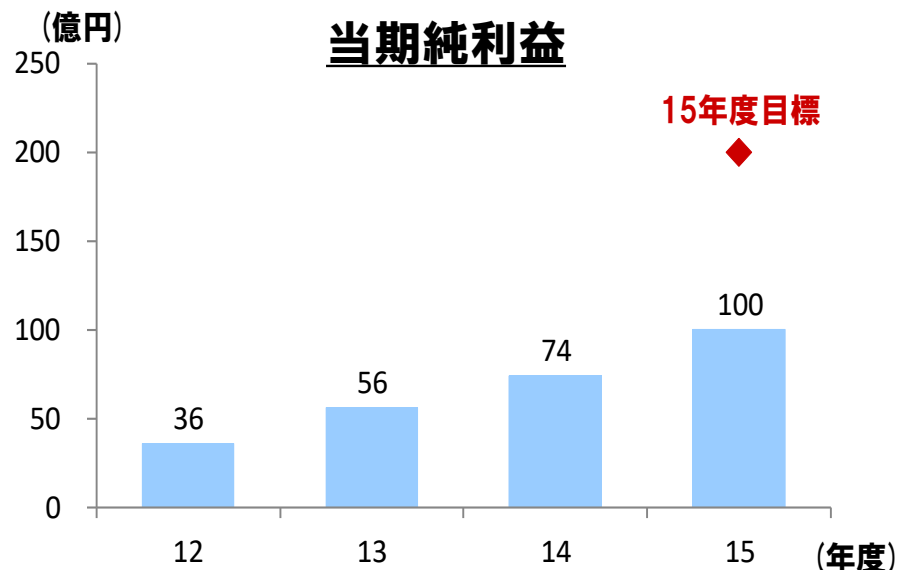
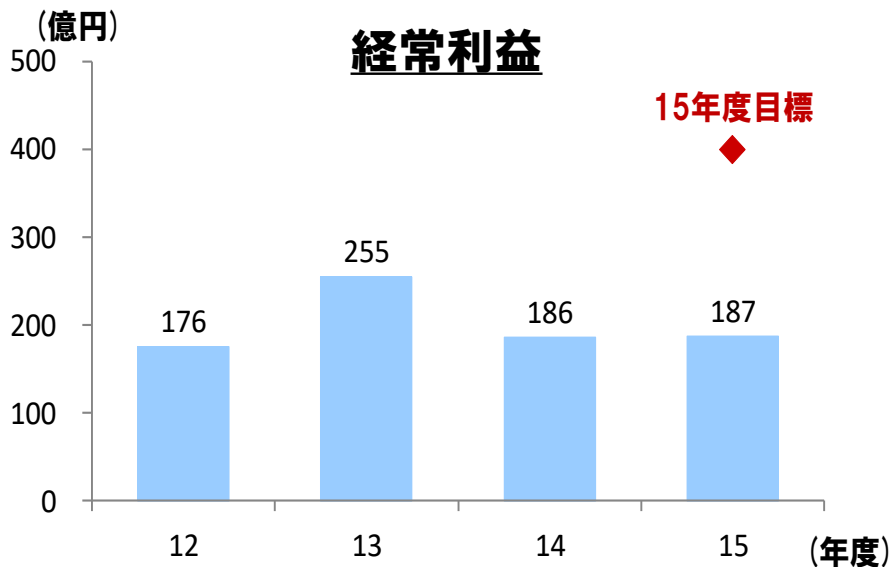
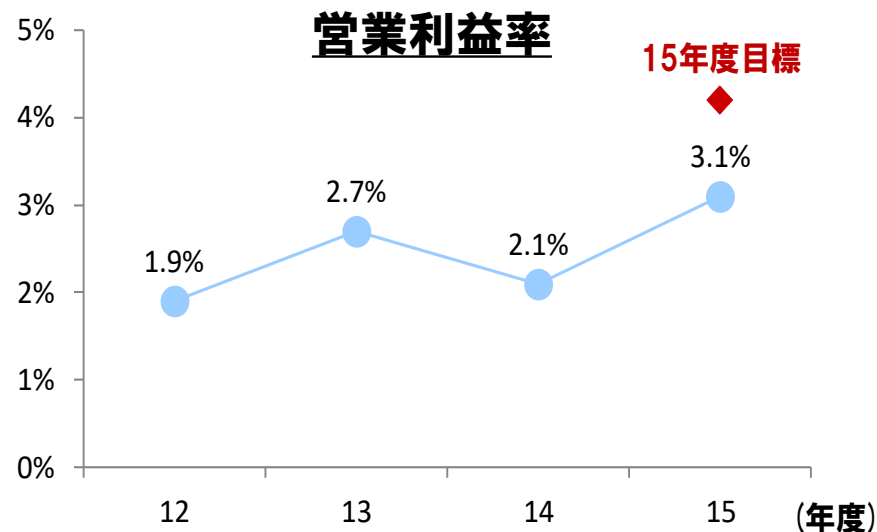
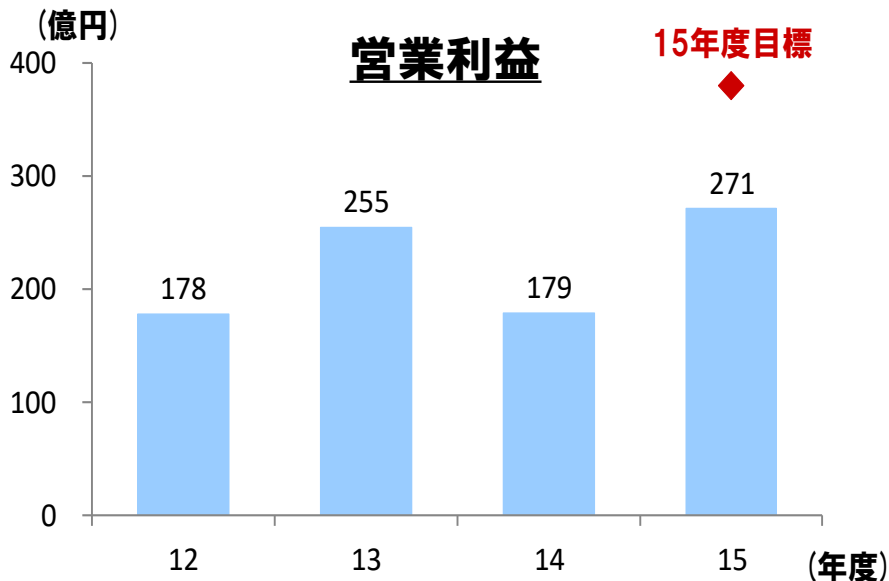
- 予定した構造改革を完遂
- ファイバレーザの事業化を推進中
- 事業部門制が定着

III. 財務体質の改善

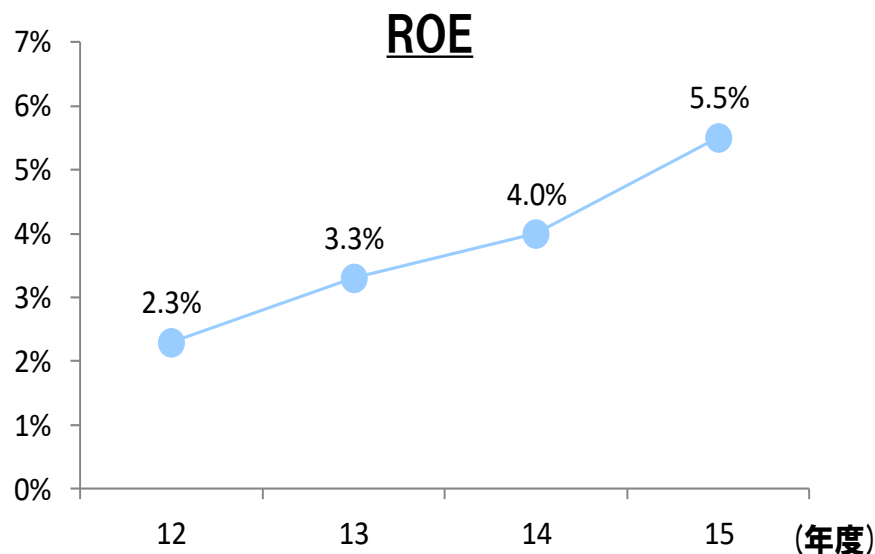
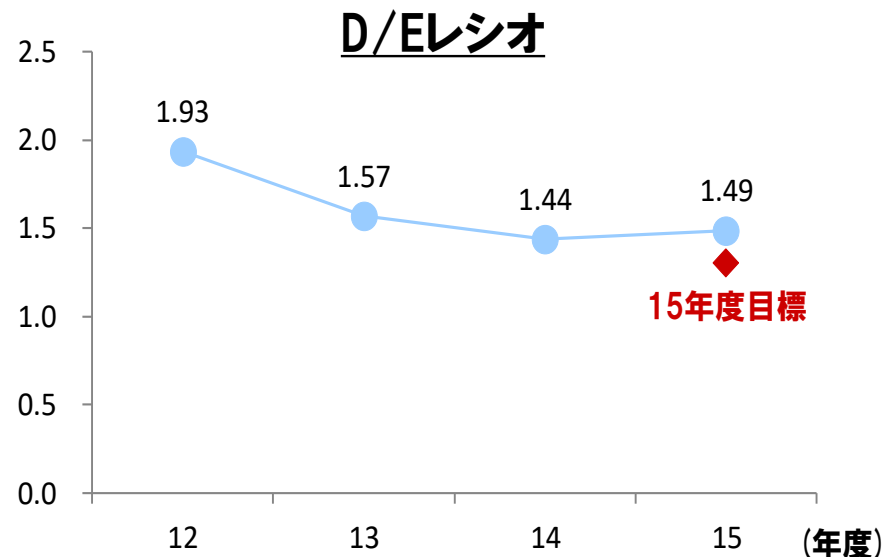
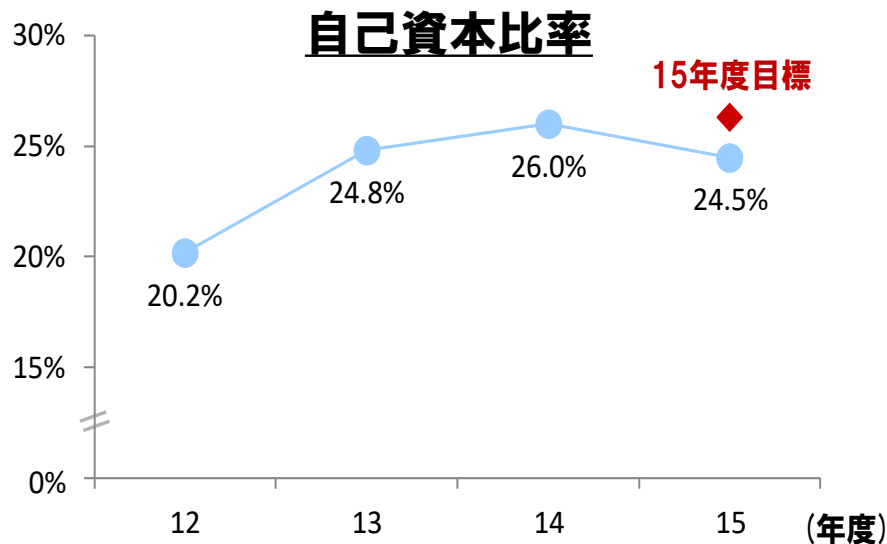


- 指標としては改善傾向にあるものの15中計目標は未達
- 営業利益目標なども未達

15中計の振り返り ①



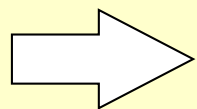
15中計の振り返り ②



**20中計の課題：
15中計の活動を“成果”に
繋げること**

I. 事業の強化と変革

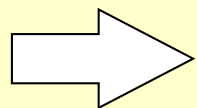
注力事業・製品の強化、低採算製品事業・製品の変革(改革・縮小・撤退)



- 個々の事業がそれぞれの局地戦に勝つ
収益性向上

II. グローバル市場での拡販推進

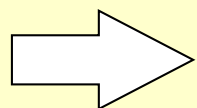
当社グループの強みを世界市場で活かす



- 各地域の特徴に対応した拡販戦略を展開する
グローバル化加速

III. 新事業の開拓加速

そのための中長期的な“種まき”の推進



- 事業の新陳代謝が継続する状態を実現する
新事業創出

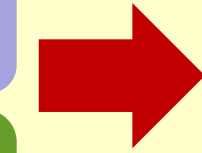
成果に繋げるための体制整備

マーケット・インの組織へ再編

開示セグメントの変更

15SBUの傘下に関係会社を置き
グループ・グローバル経営を強化

マーケット軸でSBUを統括する部門を
設置し事業の強化と改革を促進



15中計

情報通信

- ファイバ・ケーブル
- ファイテル製品
- ブロードバンド

金属

- 銅条・高機能材
- 銅管
- 銅箔

サービス・開発等

エネルギー・産業機材

- 電力
- 産業電線・機器
- 導電材
- 機能樹脂製品

電装・エレクトロニクス

- 自動車部品
- 電池
- 巻線
- サーマル・電子部品
- メモリーディスク

20中計

インフラ

情報通信ソリューション

- ファイバ・ケーブル
- ファイテル製品
- ブロードバンド

エネルギーインフラ

- 電力
- 産業電線・機器

機能製品

- サーマル・電子部品
- AT・機能樹脂
- メモリーディスク
- 銅箔

電装エレクトロニクス

自動車部品・電池

- 自動車部品
- 電池

電装エレクトロニクス材料

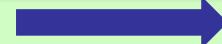
- 導電材
- 巻線
- 銅条・高能材料
- 銅管

サービス・開発等

営業の統合

グローバル市場に向けた基盤整備

エリア戦略への更なる進化



15中計

セールス・マーケティング部門 国内

グローバル事業推進部門 海外

20中計

グローバルマーケティングセールス
部門

インフラ

情報通信ソリューション

強化

- ✓ 光ファイバ増産／アクティブ光製品強化
- ✓ ソリューション事業拡大(アジアへ)
- ✓ 国内情通事業改革推進

エネルギーインフラ

変革

- ✓ 新エネ需要取り込み加速
- ✓ 超高压電力ケーブル事業改革
- ✓ 建販向け低圧ケーブル事業改革

電装エレクトロニクス

自動車部品・電池

- ✓ アルミ化・機能部品比率アップ
- ✓ 電池拡販(産業用・自動車用)
- ✓ 通信・無線技術との融合推進

強化

電装エレクトロニクス材料

- ✓ 無酸素銅応用製品の拡大
- ✓ 高性能巻線増強(自動車用平角線、リボン線)
- ✓ 低採算製品群の縮小(高付加価値製品へシフト)

変革

機能製品／サービス・開発等

強化

- ✓ 半導体プロセス用テープ増強
- ✓ サーマル製品(ヒートパイプ・ヒートシンク)強化
- ✓ 電池用銅箔・高機能銅箔強化
- ✓ ファイバレーザ事業立上げ加速

電力事業の再編

- 電力(エネルギー)インフラ市場は中長期的に成長
- 電力事業の競争力の強化
 - 保有する世界トップレベルの技術力
 - 本分野で積み上げてきた多くの実績
- ビスキャスから電力事業を承継し強化、発展

主な
期待効果

- 営業力強化
- エンジニアリング力の充実
- 製造力強化

安定して利益を創出する事業に改革し
次の飛躍を目指す

II. グローバル市場での拡販推進～エリア戦略

ワールドワイド

- 光ファイバ供給体制強化
- アクティブ光製品強化
- 自動車向け機能部品強化・拡販

北米

- 光ファイバケーブル・光部品などの増産・拡販

中国・韓国・台湾

- 電力ケーブル 中国からのOUT-OUT拡大
- 電池用銅箔拡販

日本

- 新エネ需要取り込み加速
- 高機能銅箔強化
- ファイバレーザ事業拡大
- 高性能巻線増強

中南米

- 情通ソリューション事業拡大

EMEA

- 光ケーブル拠点立ち上げ(アフリカ)
- 機能樹脂製品(鉄道・自動車部品)拡販
- 電力ケーブル受注拡大(中東)

東南アジア・インド

- 情通ソリューション事業拡大
- 電力ケーブル受注拡大

- ・HV/EV用平角巻線/高圧部品
- ・車載用ヒートシンク
- ・車載LiB用銅箔
- ・LED照明/MCPET

- ・バッテリー状態検知センサ
- ・ウルトラバッテリー



- ・コンテナ型/V2B蓄電システム



- ・アルミワイヤハーネス
- ・アルファ端子
- ・発泡エアダクト
- ・高剛性プラスチック材料



Furukawa G Plan 2015

自動車のグリーン化

エネルギーインフラの多様化

通信インフラのスマート化

Furukawa G Plan 2020

- ・車載レーダ
- ・無線通信関連製品

ナノテク技術

数値シミュレーション技術

熱マネジメント技術

合金設計技術

ポリマー加工技術

半導体レーザ技術

**情報端末化
自動化**

**エネルギー
ソリューション**

**IoT
ビッグデータ**

**One
F**

無線技術

光・通信技術

**高速・
大容量化**

- ・浮体式洋上風力発電用
レーザーケーブル
- ・光マルチポップ通信装置

- ・光インターコネクション用
光エンジン

- ・データセンタ用
HDDアルミ基板
ヒートシンク
- ・高周波用銅箔

- ・光ファイバ融着接続機
- ・光接続関連製品



- ・超多芯光ケーブル
- ・超低損失光ファイバ
- ・低曲げ損失ファイバ



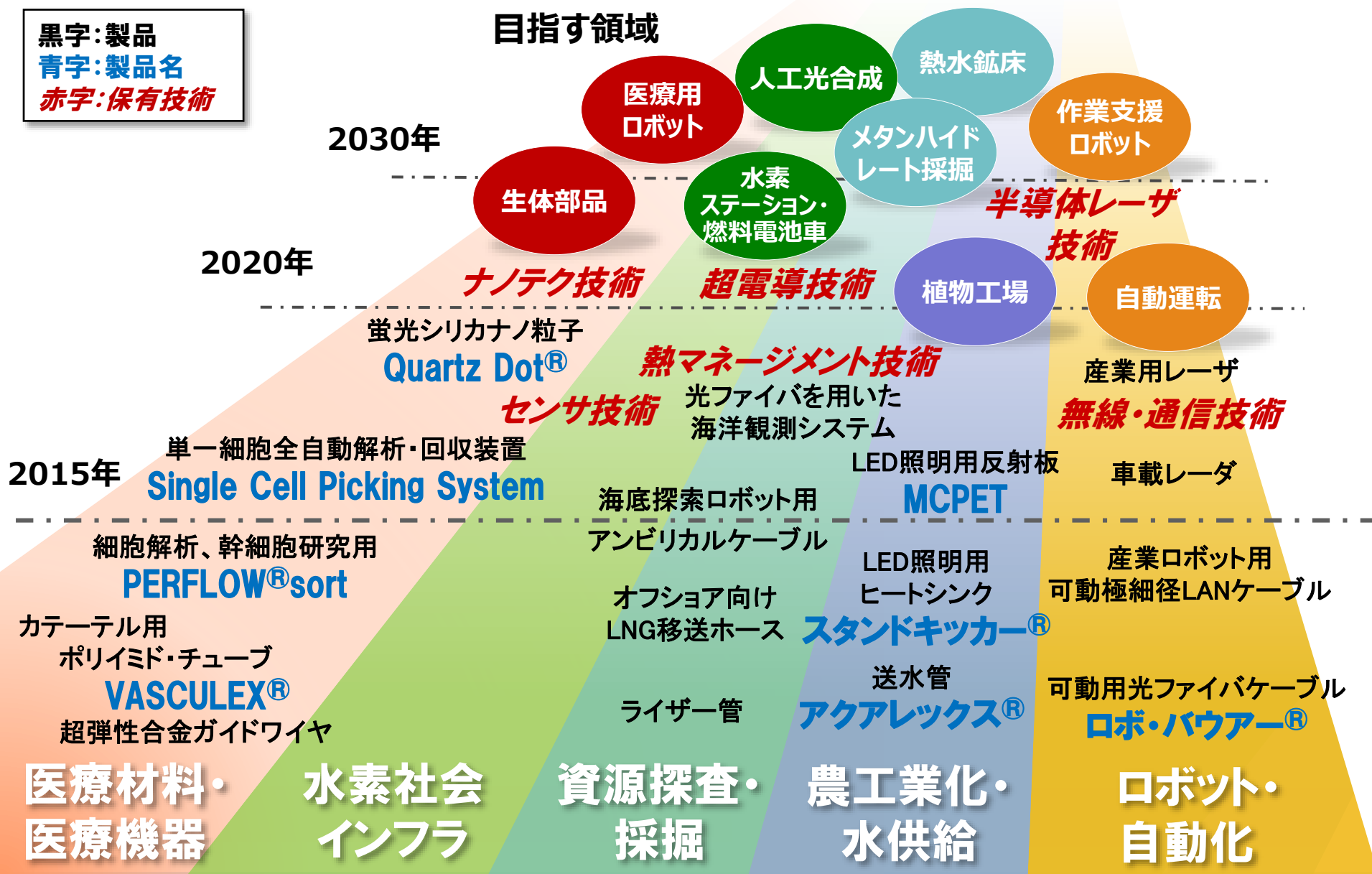
- ・LAN/FTTHソリューション
- ・狭線幅ITLA/μITLA

黒字: 製品
赤字: 保有技術

III. 新事業の開拓加速～目指す領域

黒字:製品
 青字:製品名
 赤字:保有技術

目指す領域



- 当社グループの持続的成長を支える「注力事業分野(インフラ/自動車市場)」での**利益拡大**および**新事業創出**に対して優先的に経営資源を振り向ける。
- その結果としてグループの収益性を強化し、「**財務体質改善**」を図る。



株主還元については、成長投資と財務体質改善とのバランスをふまえながら、安定配当方針を継続します。

コーポレートガバナンス

- ・取締役会実効性評価による取締役会運営等の継続的改善の実施
- ・攻めと守りのバランスのとれたガバナンスの遂行
- ・役員報酬の業績連動強化と中長期インセンティブ追加

グループ理念の浸透

- ・グループ共通の価値観に則り行動する人材の確保・育成を通じて、社会や顧客の期待と信頼に応え、持続可能な社会の実現に貢献

「働き方」の改革

- ・ワークスタイル変革/組織風土改革により、「会社の持続的成長」と「個々人の生活(人生)の充実」を目指す

ダイバーシティ推進

- ・多様な人材・働き方・価値観を尊重し、一人ひとりが生き生きと活躍することで会社の成長を目指す(女性活躍推進からスタート)

持続可能な社会の発展を目指して



光ファイバ アクティブ光製品
光ファイバケーブル (ITLA・マイクロITLA)



リサイクル樹脂製
ケーブルトラフ
「グリーントラフ」



紙製容器でできた
マグネシウム空気
電池「MgBOX」



再生可能エネルギー(水力発電)



古河電工グループ
古河日光発電株式会社

環境保護・生命の維持・生活を支えるインフラ事業などを
地球規模で展開し、持続可能な社会の発展に貢献します。

情通ソリューション事業



ブラジルW杯サッカースタジアム
全12会場中10会場で採用



アルミ電線を使用 鉛バッテリー状態
したワイヤハーネス 検知センサ

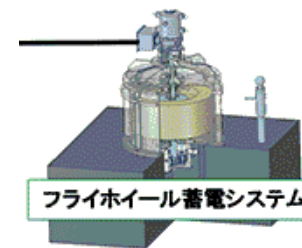


スマートインフラ

ライザーケーブル 超電導マグネット



福島洋上風力発電
プロジェクト



フライホイール蓄電システム

Appendix

これまでの中計との比較

2006-09

イノベーション09

自動車・電子部品
フォトニクス
NW環境

トップシェア
商品育成
と
グローバル
マネジメント

31%:実績

2010-12

ニューフロンティア
2012

新市場・新事業
での成長

伝送インフラ事業の
グローバル成長
高機能素材事業の
強化
伝統的事業の
再構築

37%:実績

2013-15

Furukawa G Plan
2015

インフラ/自動車

構造改革の推進
次世代新事業の育成
グループ・グローバル
経営の強化

目標50%
46%:実績

2016-20

Furukawa G Plan
2020

インフラ/自動車

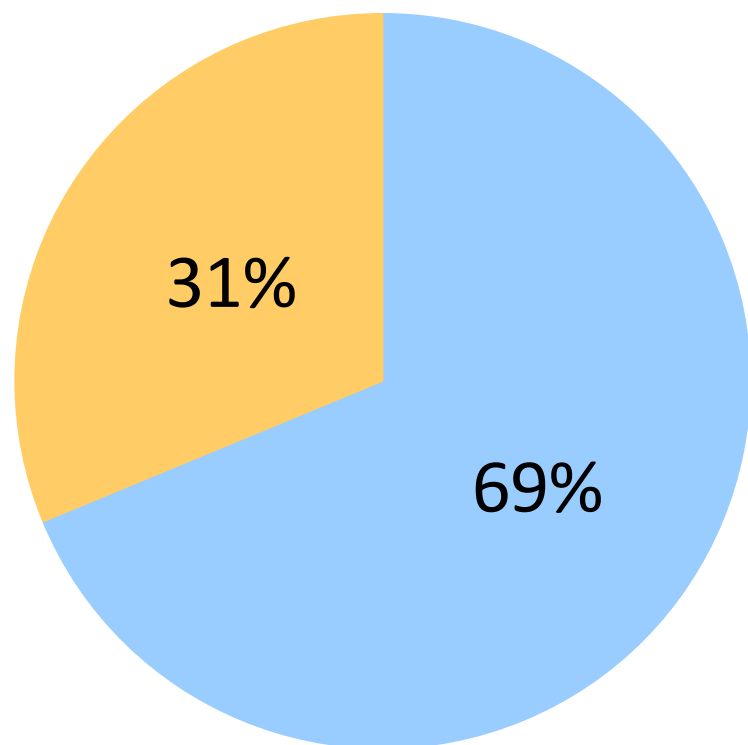
収益性向上
グローバル化加速
新事業創出

目標60%

海外
売上高
比率

設備投資

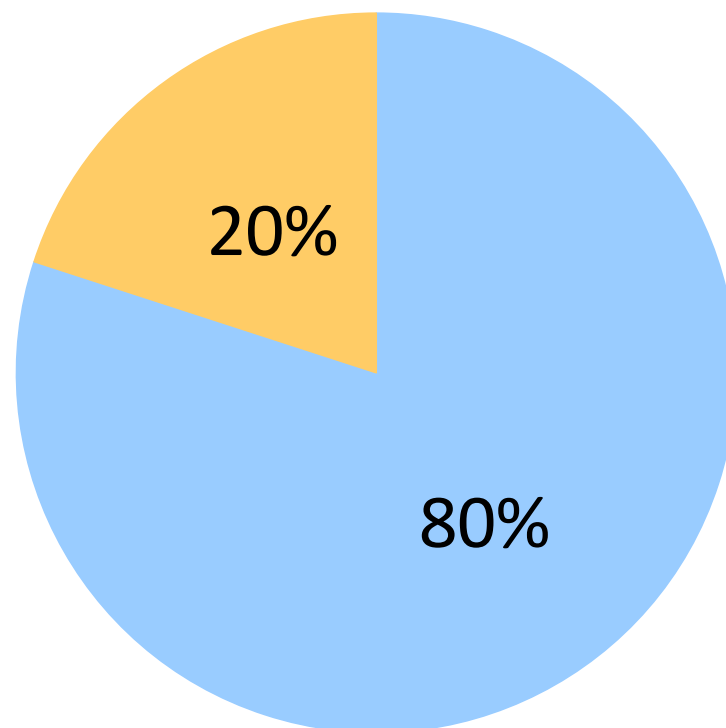
16-18年度 **1,100**億円
(13-15年度 930億円)



■ インフラ/自動車 ■ 機能製品・他

研究開発投資

16-18年度 **570**億円
(13-15年度 510億円)

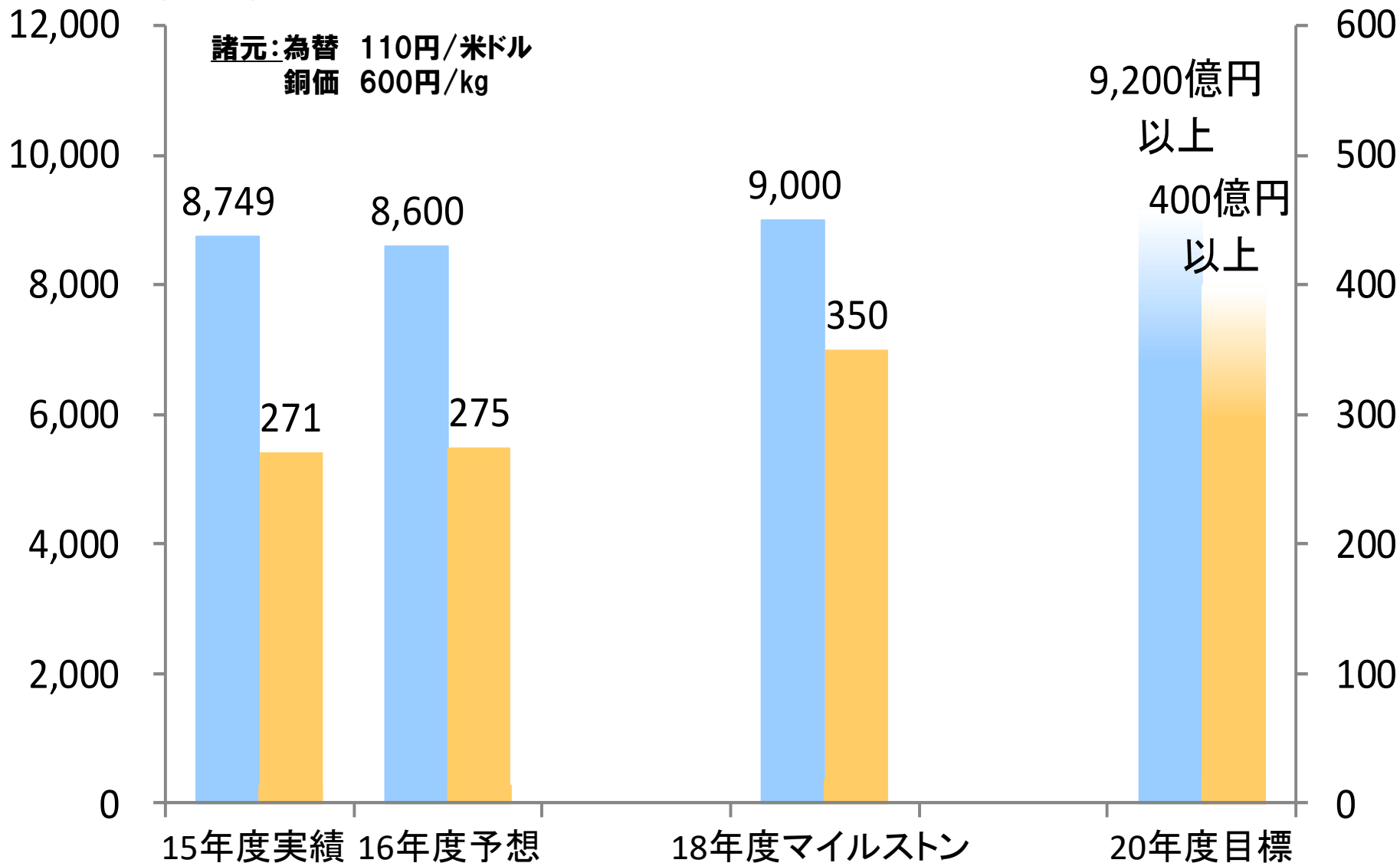


■ インフラ/自動車 ■ 機能製品・他

売上高・営業利益の推移

売上高(億円)

営業利益(億円)



Bound to  *Innovate*